

藤沢市で記録された ハジロミズナギドリ *Pterodroma solandri* について

浜口 哲一・加藤 千晴

Tetsuichi Hamaguchi and Chiharu Katoh:
Record on Solander's Petrel *Pterodroma solandri* from Fujisawa

はじめに

2007 年の台風 9 号は、9 月 7 日未明に小田原市付近を通過し、西湘バイパスが一部崩落するなど神奈川県内に大きな被害をもたらした。

9 月 7 日から 8 日にかけて、この台風によって内陸に運ばれたと考えられる海鳥の保護や死体拾得が相次いだ。が、本稿ではその中で本県初記録となるハジロミズナギドリについて報告する。

発表にあたり、写真の使用を許された神奈川県野生動物保護ボランティアの佐藤信敏氏に感謝する。

発見の経緯

本個体は、2007 年 9 月 7 日に、藤沢市片瀬海岸 3 丁目の住宅地において、人家の台所口付近で羽繕いをしていところを保護され、翌日神奈川県自然環境保全センターに収容された。外傷や骨折はなく、比較的元気で餌も食べられる状態であったが、十分な回復は得られず、9 月 17 日に死亡した。

死体は剥製標本として神奈川県立生命の星・地球博物館に収蔵される予定である。

計測値と外部形態

自然環境保全センターに収容された時点での計測によると、全長 405mm、翼開長 1,000mm、翼長 294mm、尾長 132mm、露出嘴峰長 34.6mm（管鼻を除くと 27.1mm）、ふしよ長 43.4mm、体重 465g であった。

色彩は、全身が暗褐色で、特に頭部は頭巾をかぶったように黒ずんでいた（図 1）。嘴は黒く、短くて太めのがつしりした形であった。額と腮の部分の羽毛は羽縁が白く、全体に白っぽい鱗模様に見えるが、目先の部分は小さく黒かった。眼瞼は白く目立った。背中は先端が褐色を帯びた灰色の羽におおわれ、頭部よりもやや明るい色をしていた。胸から腹部は灰色で、黒っぽい頭部とのコントラストがはっきりしていた。翼の上面は暗褐色で、初列

風切は内弁が白っぽい、羽軸だけが白く目立つことはなかった（図 2）。翼の下面も暗褐色で、先端近くには大きな白斑があった。尾はくさび形で、上面は暗褐色、下面はやや明るい色をしていた（図 3）。脚は全体が濃灰色であった。

同 定

本個体は管鼻を持つこと、大きさや尾の形状から、ミズナギドリ目ミズナギドリ科であることは明らかで、嘴が太短いことからシロハラミズナギドリ類に属すると考えられる。

国内で記録されたシロハラミズナギドリ類の中で、全体に褐色で、翼に白斑を持つ種としては、ハジロミズナギドリ *Pterodroma solandri* とカワリシロハラミズナギドリ *P. neglecta* の 2 種がある（箕輪, 2007）。本個体は、初列風切の羽軸が白くなくて翼の上面には白斑が現れないこと、黒ずんだ頭部と背中の色が明らかに違うこと、脚が暗灰色であることがハジロミズナギドリの特徴と一致する。カワリシロハラミズナギドリ暗色型の場合は、翼の上面に白斑が現れる、翼下面の前縁に白線が出る、目先に目立つ白線がある、脚がピンク色などの特徴があるが、これらの点が本個体には当てはまらない。

国内で記録されたことのないシロハラミズナギドリ類の中では、ケルゲレンミズナギドリ *P. brevirostris*、カオジロミズナギドリ *P. mollis* 暗色型が似た羽色を持っているが、これらは全長が 35cm 程度のやや小型の種であり、本個体には当てはまらない（del Hoyo *et al.*, 2002; Onley & Scofield, 2007）。また、ムナフシロハラミズナギドリ *P. arminjoniana* は翼下面の前縁に白線が出る、ウスハジロミズナギドリ *P. ultima* では、脚が肉色である点が一致しない（del Hoyo *et al.*, 2002; Onley & Scofield, 2007）。なお、ケルゲレンミズナギドリ、カオジロミズナギドリ、ウスハジロミズナギドリは南半球産の種なので、その点でも飛来する確率は非常

に低いと考えられる。

これらのことから、本個体はハジロミズナギドリであると結論した。Onley & Scofield (2007) によれば本種の繁殖地はオーストラリア東方の島であり、太平洋上を広く移動し、北西太平洋にも飛来する。日本鳥学会（2000）には、本種は日本近海で稀に観察される

として3例の記録があげられているに過ぎないが、箕輪（2007）によれば本州中部から北海道の太平洋岸でおもに春から秋に出現し数十羽の群れが観察されることもあるという。なお、本種は神奈川県からは初記録となるものである。

引用文献

- del Hoyo, J., A. Elliott & J. Sargatal, 2002. Handbook of the birds of the world. vol. 1. Ostrich to ducks. 686pp. Lynx Edicions, Barcelona.
- 箕輪義隆, 2007. 海鳥識別ハンドブック. 80pp. 文一総合出版, 東京.
- 日本鳥学会, 2000. 日本鳥類目録（改訂第6版）. 345pp. 日本鳥学会, 帯広.
- Onley, D. & P. Scofield, 2007. Albatrosses, petrels and shearwaters of the world. 240pp. Helm Christopher, London.

浜口哲一：神奈川大学理学部

加藤千晴：神奈川県自然環境保全センター



図 1. ハジロミズナギドリの頭部（佐藤信敏氏撮影）。



図 2. ハジロミズナギドリの上面（佐藤信敏氏撮影）。

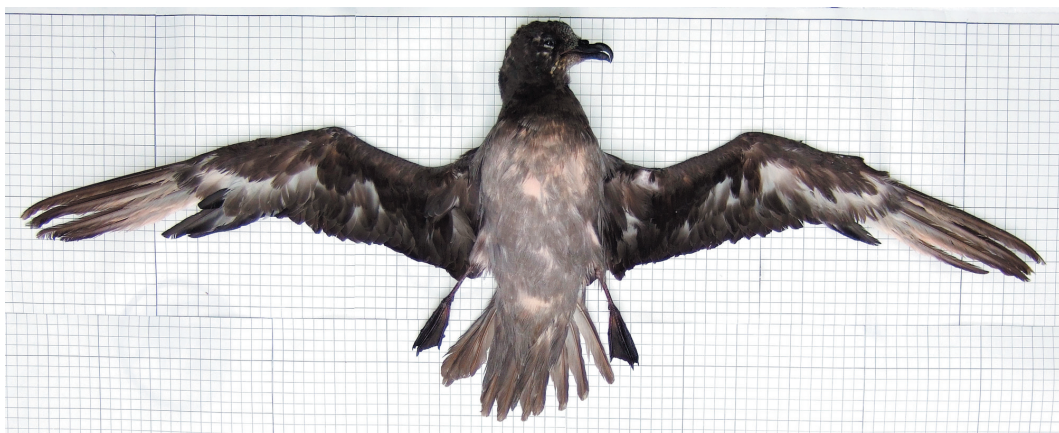


図 3. ハジロミズナギドリの下面（佐藤信敏氏撮影）。